

DEPARTMENT OF PEDIATRICS, TSUKIYAMA HOSPITAL
月 山 病 院 小 児 科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (～はルガ' =キ-ホ' -ド' の@の上の ` をshiftで変換)
 携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)

月山病院小児科では子ども達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

子どもの事故について

子どもは大人が予想もしない行動をとることがあり事故をひきおこします。今回は子どもの事故と乳幼児突然死症候群についてお話しします。

誤飲・誤嚥

子どもは予期せぬものを口に入れ飲み込んでしまいます。たばこ

たばこを食べてしまった場合、少しの量(2センチ)以下であれば様子を見ていただいてまず大丈夫ですが、2センチ以上食べてしまったら、食べた量が不明な場合やたばこを浸した水溶液(灰皿など)を飲んだ場合は必ず医療機関を受診して下さい。詳しくは、たばこ誤飲専用電話072-1726-1992(24時間、無料)にお電話いただければ自動音声応答にて情報を聞くことができます。

ボタン電池

ボタン電池はすぐには問題をおこしませんが、長時間体内にとどまると問題ですので医療機関を受診しましょう。

灯油など

揮発性の液体はほんの少しの量でも体に影響を与えるので必ず受診させて下さい。

その他

釘などの固形物の場合、せき込み(飲み込んだものが気管に入り込んでしまう)とせき込む(誤嚥)がなければほとんどが腸管に影響のないまま使えらるりますが、飲んだ類似の物をもって受診した方がいいでしょう。またお薬を多量に飲んでしまったという問い合わせも多いのですが、薬剤によって対応が異なるので、必ず薬剤がわかるようにして受診して下さい。

お風呂場

子どもの事故において溺れた、という割合は多いものです。普通、溺れた、というのは海や川を思い浮かべますが、自宅での風呂場での事故が多く報告されています。幼児がおられる家庭では風呂場で一人では遊ばせないようにし、風呂以外の時は鍵をかけるようにしましょう。消防ではお風呂の水は火災に備え残しておきましょう、と指導されることもあるのですが、幼児がおられる家庭では風呂水は必ず抜くようにして下さい。

肘内障

子どもの手を強くひっぱった後に上肢をだらりとして動かさなくなることがあり、肘内障と呼ばれます。3歳前後の幼児によくおこり、肘の関節が亜脱臼することによって起こります。小児科で治療(整復)することもありますが、基本的には整形外科の先生に診ていただきます。

チャイルドシート

子どもの事故で大きな割合を占めるのが交通事故です。保護者のかたがどれだけ気をつけていても事故を受けてしまうこともよくあることです。ひとたび事故に会うと、その衝撃は子どもの方が強く受けることもしばしばです。子どもはなかなか車の座席で静かには座ってくれないものですが、この6月から後部座席の方についてもシートベルトの着用が義務付けられます。シートベルトは習慣です。小さな時からシートベルトの着用を習慣づけてあげて下さい。

やけど

どんなに小さなやけどでも流水で最低30分は冷やして下さい。広い範囲の場合はその後(顔色が悪ければ冷やしなが)皮膚科(小児科でも多少の処置は可)を受診して下さい。なお服を着ている部位であれば服を脱がせようとせず服の上から冷やすようにしましょう。

SIDS (乳幼児突然死症候群)

乳幼児突然死症候群というのは、寝る前は元気で病気の兆候もないのに、気づいた時には亡くなっているという大変かわいそうな病気で日本では年間200人以上の子どもの命をおとされています。原因は不明で、亡くなった後にいくら他の病気を探してもみあたりません。窒息などの事故ではありません。ただし、以下のことをするとうる危険性は少なくなるので(絶対おこらないわけではない)実践して下さい。

- 1 仰向けで寝かせる(うつ伏せ寝はダメ)
- 2 子どもの周りで喫煙しない
- 3 できるだけ母乳で育てる



絵本のご紹介

小児科スタッフによる絵本の紹介です
 書評：キツネのはじめた「ともだちや」、ともだちって、売ったり、買ったりできるの？友達がどんなものを教えてくれる本ではないでしょうか。 by 岩井

今月の顔
 ゆうほくん
 ねむいかな



月山病院小児科からのお知らせ

- 6月5日(水)は急患センター出務のため19時に受付終了させていただきます。(オンライン終了は18時45分です)
- 6月5日(木)午前は月山聖子の診察となります。
- 6月の金曜日午前診は担当が再度板橋となり、午後の予約診が再開となります。ご了承下さい。

麻疹・風疹混合ワクチンの接種について
 3期・4期の接種とは。
 近年麻疹の流行や妊婦さんの風疹感染が散発してみられるためその対策として平成20年4月から5年間の暫定で中学1年生(3期)と高校3年生相当(4期)で麻疹・風疹の混合ワクチンを接種することになりました。(和歌山県では公費負担で無料で接種ができます)接種券は中学入学のかたは学校から配付され、高校3年生相当の年齢では個別に郵送されているようです。大学入学に際して麻疹の免疫を確かめたり2回目の接種を要求する学校も多くなってきました。大学入学後では自費になり相当額の負担が必要になります。必ずこの機会に接種するようにして下さい。
大学生(19歳以上)の人はどうしたらいいの。
 19歳以上では公費による予防接種の補助はありません。しかし19歳以上で流行を認めるため、自費にはなりますが追加接種を受けていただく方がよろしいかと思えます。ただ40歳以上では過去に麻疹患者との接触が多かったためワクチンの効果が持続している場合も多く、追加接種の必要性は低いようです。